

# みやぎ便り

No. 7

2017年1月31日発行

1月号

日本生協連  
組合員活動部

仙台市は、2017年3月末までに全ての仮設住宅の撤去を予定しており、県外からの避難者や新居の工事が遅れている方などは、みなし仮設住宅に住んでいらっしやいます。みやぎ生協では2017年度も、みなし仮設住宅1会場でのふれあい喫茶を継続していきます。



## さわやかお茶会 ~転居された方との交流の場にもなっています~

気仙沼市松川仮設住宅での月一回開催のお茶会は、しゃべって笑って食べて過ごすのが常ですが、何か手作りをとの要望があり「お花のマグネット」作りを予定していました。そこへお茶会の前日にエフコープ大里区域委員会のみなさんからサンタクロースの飾り物作りキットが届き、一緒に作ることにしました。「何か作るの久しぶりだね」「かわいいね。サンタクロースとお花のマグネットの二つも作れてうれしい!」「どうやるの?」と、みんなで考えながら楽しく作りました。お茶うけにはユーコープずおかの皆さんから頂いたお菓子を出し、その箱に描いてあった紙芝居をサポーターが声色を変えながら演技たっぷりに読むと、みんな楽しく聞き入っていました。仮設住宅は空室が多くなりましたが、このお茶会には元住民の方も遊びにいらしています。仮設住宅の方は元住民の方と会えるお茶会の日を楽しみにしているようでした。



## 災害公営住宅と地域のつながりづくりに協力しています

災害公営住宅でのコミュニティづくり支援に、災害公営住宅の住民、独立行政法人都市再生機構（UR）などと連携して取り組みました。塩釜市清水沢地区では消防訓練の後で、南三陸町志津川東地区では自治会立ち上げ総会後にそれぞれ芋煮会が行われ、地域のメンバー・職員が、材料提供や調理などのお手伝いをしました。災害時の備えの確認も兼ねた芋煮づくりを通して、住民どうしのつながりが作られていました。

今後、南三陸町志津川西地区や中央地区でも自治会立ち上げが予定されているとのことで、今後も連携した取り組みを行っていきます。





## 自らの体験を通して学んでいます ～被災地訪問親子企画～

2016年12月3日、7組17人の親子が南三陸町を訪問。震災語り部の案内により戸倉中学校の元の校舎で被災状況の見学や、震災時に高台まで避難した道を登りました。参加者からは「実際に避難した道を歩き、避難や備蓄を考えさせられた」「震災後に仙台に来た。報道で伝わらないことを子どもも感じてくれたと思う」「貴重な話を聞いた自分たち親子にも、語り継ぐ使命があると感じた」などの声が寄せられ、防災・減災の意識を高めることや、学んで語り継ぐことの大切さを考える機会になりました。



## 全国の生協からいらしていただき、交流が行われました

12月も各地の生協のみなさんが来訪くださり、被災された方々との交流のほか、現地を見て被災地の変化を感じていただきました。ありがとうございました。



京都生協のみなさんによる南三陸町などでの餅つき



共立社新庄生協のみなさんによる蛇田店（石巻市）での交流



## 震災から6年目を迎える、仙南地域の様子

名取市 2016年11月撮影



土地をかさ上げして作られた閑上地区の新しい道路。



集合タイプの公営住宅がすべて完成するのは2019年12月とのことです。

岩沼市 2016年12月撮影



集団移転した玉浦地区にある、県道亘理塩釜線のかさ上げ道路。



一部は開通しましたが、全面開通は2017年秋の予定とのことです。

亘理町 2016年11月撮影



公共ゾーン仮設住宅跡地には、亘理町役場庁舎が建設される予定だそうです。



沿岸部の亘理町荒浜地区には、防災公園を建設中とのことです。

山元町 2016年12月撮影



災害公営住宅への転居がすすんだため、旧坂中跡地仮設住宅のふれあい喫茶は2017年2月で終了します。



2016年12月10日、待望のJR常磐線(浜吉田～相馬間)の運転が再開しました。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部  
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉